

養殖ウナギの分散放流

平成29年7月25日 水産技術開発センター

7月25日、枕崎市の花渡川に平均全長356mm、平均体重52gの養殖ウナギを700尾標識放流しました。

河口から上流にかけて約3.5km区間において、河床の浮き石や、石積み護岸などに養殖ウナギが速やかに隠れるように、できるだけ広い範囲に低密度で放流しました。

また、モニタリング用に設置した石倉かごにも、一時避難場所として一部を放流しました。

この分散放流は、住処や餌の競合を避けることや、一時的に避難場所を確保し、鳥からの捕食を避けることなどで、再捕率(生残率)の向上を期待して昨年度から行っています。



図1: 標識作業(指宿市宮ヶ浜水技実験池)



図2: 石詰め護岸や浮き石場所への放流



図3: 石積み護岸に隠れようとする養殖ウナギ



図4: 石倉かごへの放流